

令和5年度 第1回 大洲市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

令和5年7月31日（月）午後3時00分から午後4時20分まで
大洲市役所3階第1会議室

2 出席した構成員

大洲市長	二宮隆久
大洲市教育委員会 教育長	櫛部昭彦
大洲市教育委員会 教育長職務代理者	山内光郎
大洲市教育委員会 委員	渡邊ひとみ
大洲市教育委員会 委員	吉岡恵一
大洲市教育委員会 委員	久米山雅美

3 会議に出席した職員

（教育委員会事務局）

教育部長	城戸弘一
教育総務課長	加納紀彦
教育総務課学校教育指導監	西山慎介
生涯学習課長	渡邊慎二
文化スポーツ課長	脇坂剛
学校給食センター所長	深部一男
教育総務課長補佐	藤原優勝

（市長部局）

市民福祉部長	上野康広
子育て支援課長	門多美千代

（事務局）

総合政策部長	久保明敬
企画情報課長	井上朋昭
企画情報課長補佐	信尾肇典

4 傍聴者の数

3名

5 協議又は調整に係る事項

- (1) 令和5年度主要事業の概要と進捗状況
- (2) 関連計画
- (3) その他

6 議事

別紙のとおり

	1 開会
	2 市長あいさつ
	3 議事
	(1) 令和5年度主要事業の概要と進捗状況
二宮市長	括弧1の令和5年度主要事業の概要と進捗状況について、を議題といたします。事務局より説明をお願いします。 [会議資料に基づき説明] 加納課長、渡邊課長、脇坂課長、深部所長、門多課長 《市内産木材を活用した学校机の見本を確認》
二宮市長	それでは、質疑、意見交換に移りたいと思います。 教育総務課から、説明がありました、「1 市内産木材を活用した学校机等の更新」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
山内委員	小学校の低学年と中学生では体格も異なります。強度の関係もあると思いますが、低学年に対して軽い椅子を作るなど。軽量化を図ることはできないでしょうか。 また座面の段差を解消することはできないでしょうか。
加納課長	座面の高さについては、仕様の中でレベルにするように対応しています。 また、低学年への対応については、5年間で1500セットを整備する予定ですが、それだけでは全児童生徒数には足りません。既に、新JIS規格の既製品の机椅子が1000セットはありますので、できれば、小学校1年生から3年生くらいまでは、既製品を使うのも1つの方法と考えています。
渡邊委員	机の表面の強度について、傷が付きにくいものとなっているのでしょうか。
加納課長	この点について、デスクマットを載せることをプロポーザルの仕様にしていましたが、プロポーザル審査委員会において、表面を固い加工を施し、傷が付きにくい仕様にしてほしいとの意見がありましたので、そのように対応することとしています。
渡邊委員	この机椅子の耐用年数はどの程度あるのでしょうか。
加納課長	できれば20年は持たせたいと考えています。部品ごとに分割できるようになっているので、一部分が壊れた場合にも、交換が可能になっています。
二宮市長	プロポーザルの審査委員は、どのような構成でしょうか。

加納課長	7名で構成しています。教育長、教育部長、学校教育指導監、校長会の会長、副会長2名、農林行政から農林水産部長の7名ですが、プレゼンテーションの際、1名欠席されましたので、6名で審査を行いました。
二宮市長	学校側の先生方も審査に入っているということですね。 長年にわたる懸案でもありましたので、より良いものにしていただき、児童生徒にとって学びやすい環境を整えていただきたいと思います。 それでは、次に移りたいと思います。 生涯学習課から、説明がありました、「2. 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の充実と推進」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
久米山委員	非常勤支援員には年齢制限があるのでしょうか。また、子供の人数に対する支援員の配置人数が決まっているのでしょうか。
渡邊課長	常勤、非常勤の支援員とも、年齢制限は設けていません。支援員の配置については、注意のいきとどく範囲ということで、子供10人に対し1名の配置を目安と考えています。
二宮市長	支援員について、例えば保育士や教員免許などの資格のようなものがあるのでしょうか。
渡邊課長	保育士の資格、幼稚園や学校教員の免許をもたれている方は、放課後児童支援員の認定を受ける際に有利になります。 非常勤支援員の方が、経験を積まれて、毎年行われていますが、認定の資格を受けることもできますので、主任支援員として責任ある立場になっていただくこともできます。
二宮市長	資格の認定はどこが行うのでしょうか。
渡邊課長	県が認定することになります。
二宮市長	現在、待機児童はあるのでしょうか。
渡邊課長	現在のところ待機児童はありませんが、以前から話がありますとおり、4年生以上の児童で入所を躊躇されている家庭があるのではないかと感じています。

二宮市長	できれば、希望される児童は受入が可能となるように、子育て支援の充実をお願いします。 それでは、次に移りたいと思います。 文化スポーツ課から、説明がありました、「3. 中学校地域部活動推進事業」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
吉岡委員	10月に実証開始ということで、厳しいスケジュールだと感じていますが、カヌーについて、子供の希望はどのような状況でしょうか。
脇坂課長	昨年、小中学生を対象とした「地域部活動に関するアンケート」において「やってみたい部活動」について質問しましたが、選択項目を既存の部活動のみに設定していたため、カヌーに対してどのくらいの要望があるのかは把握できていません。 しかしながら、大洲カヌークラブが休日に開催している練習会では、小中学生20名程度が毎回参加しておられることから、一定数の参加が見込まれるものと考えています。
二宮市長	地域の特色ある活動でもあるので、カヌーの楽しさを体験していただきたいと思います。 大洲高校カヌー部から、高校総体の男子スプリント・カナディアンフォアで優勝する選手もでていますので、是非そ野を広げていただきたいと思います。 それでは、次に移りたいと思います。 学校給食センターから説明がありました、「4. 学校給食センター次期事業基本方針の検討」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
吉岡委員	現在のPFI契約が令和9年3月までということですが、現在の契約期間は何年で、次期の契約期間はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。
深部所長	現在の契約は平成23年5月からの契約で、15年間の契約期間になります。
城戸部長	現在は15年の契約としていますが、次期の契約については15年は長すぎるのではないかと考えていますが、余り短いと次の契約の準備が直ぐに来ますので、5年なのか10年なのか、その点については今後検討していきたいと考えています。
二宮市長	データがあれば、現在の地産地消の状況をお願いします。
深部所長	令和4年度の実績で、重量ベースで地産地消率が68.9パーセントで

	す。
二宮市長	週４回は米食、１回がパン食で、米については、「にこまる」で１００パーセント大洲産となっています。これは、愛たい菜の学校給食部会の農家の協力や農協からの支援があつての実績となっています。 それでは、次に移りたいと思います。 子育て支援課から説明がありました、「５．大洲市立幼稚園・保育所再編計画に基づく事業推進及び次期計画策定の準備」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
吉岡委員	現在の子育て世代は、共働きの家庭がほとんどで、大変苦勞されていると思います。徳森こども園（仮称）の整備にある医療的ケア児の受入とあるのは、病児保育と捉えて良いのでしょうか。 また、病児保育の課題などがあれば、教えていただけないでしょうか。
門多課長	徳森こども園（仮称）の医療的ケア児の受入は、病児保育とは異なっています。例えば、痰の吸引が必要など、支援が必要な児童が毎日通うことができる施設になります。 病児保育については、現在、おおくぼこどもクリニックの「くれよん」で行っていますが、保育士不足が課題で、感染症の場合は１人の児童を１人の保育士が担当していますので、受け入れしたいけれどもできない状況もあります。 また、内子町には病児保育の施設がありませんので、広域で対応できないか検討している所です。
吉岡委員	様々な子供たちの保育について考えていただいていると思っています。 まだまだ、育児休暇など職場的な環境が整っていない場合もありますので、より一層推進いただきたいと思います。
二宮市長	文化スポーツ課の別冊資料にも出生者数が載っていますが、いかに少子化が進んでいるかが分かります。このような現状を踏まえ、また、子育て支援策の充実を図って、どのように良い方向へ向かっていくか、次期の子育て支援計画の作業を進めなければならないと考えています。 子育てのしやすい、働きやすい環境をどのように整備していくか、大切な計画なので、よろしくお願いします。 それでは、次に移りたいと思います。 同じく、子育て支援課から説明がありました、「６．土曜一日保育の実施に向けた取組」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。 （質疑・意見なし）
二宮市長	特にご意見等ありませんので、次に進みます。

	議題2の関連計画に移ります。 (仮称)大洲市人口減少対策プランの策定に向けた取組方針（案）について、総合政策部より説明願います。 [会議資料に基づき説明] 久保総合政策部長
二宮市長	総合政策部長から説明がありました、「(仮称)大洲市人口減少対策プランの策定に向けた取組方針（案）」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
山内委員	移住促進について、大洲市としてはどのような対応をされているのでしょうか。
久保部長	大洲市では、移住により転入された方や住宅取得された方など、予算で言いますと、年間2900万円程度になりますが、様々な交付金を用意して支援しています。 また、先般も職員が上京し、移住定住に関するイベント等で大洲市のPRなども行っています。 さらに、将来的な移住・定住に繋がるよう、大学等へ進学しても大洲市へ戻っていただく思いも込め、大学生等生活支援事業について今年度取り組んでまいります。今年度は、コロナ交付金を充当していますが、来年度以降については、内容は見直す必要があるかもしれませんが、人口減少対策として位置づけ、引き続き取組みたいと考えています。
山内委員	これまでに、どのくらいの方が移住されたのか、実績を教えてください。
久保部長	県外から移住された実績では、令和4年度が100人、令和3年度が88人、令和2年度が61人となっています。少しずつですが、増加しています。
二宮市長	人口減少対策については、大洲市も様々な検討をおこなっていますが、国・県が打ち出しているもの、検討しているものもあります。そのあたりも見極めながら、できれば今年度内に大洲市のグランドデザインを取りまとめたいと考えています。子育て支援については、自治体で競争のようになっていく感がありますので、あわてて取り組むのではなく、しっかりとしたグランドデザインをもって、出来ることから取組んでいきたいと考えています。
	4 教育長あいさつ
	5 閉会